

2022年7月号 Vol.72 (2022年7月1日発行)

せんしゆん



ISO9001:2015認証取得
日本医療機能評価(3rdG:Ver.1.1)認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



苔の緑が美しい「祇王寺」庭園(京都市右京区嵯峨)

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

パワーアップした

5人体制の 整形外科診療

今回は当院のパワーアップした整形外科診療体制を御紹介します。
「なんと、この4月からは整形外科医師5人体制で運営しております。
この5人体制のチームを強化して、ますます充実した整形外科診療を
築いていきたい」と、意気込みあふれる金村副院長です。



かなむら まさし
金村 卓 副院長

当院の整形外科の歴史はまだ浅く、2人体制となったのは、私が赴任した2017年4月からです。
それまでは石井整形外科部長1人体制で、整形診療を運営しておりました。

2人体制となり2021年3月までの4年間は、外来診療、入院診療、手術治療、術後リハビリ
治療と、より安定して整形外科診療が提供できるようになりました。

さらに昨年4月からは小池和広先生が赴任され、3人体制となりましたので、手術中の整形外
科外傷の対応も可能となりました。また、小池先生には、リハビリ訪問診療にも従事頂き、リハ
ビリ診療の幅が拡充致しました。

そして昨年9月から原田豪人先生が、非常勤医として赴任され、「膝専門外来」も開始され、当院
の整形外科医師は4人体制となりました。また、原田先生の「膝専門外来」に加え、スポーツや
慢性的な痛みが継続する慢性痛に対する「体外衝撃波（ショックウェーブ）治療」や「再生医療治療」
も開始され、地域の患者様に先端医療の提供をすることが可能となりました。

そして今春4月からは、股関節の専門医であり、全国的にも御高名な藤田 裕先生が赴任され、
5人体制で整形外科診療を展開することが可能となりました。

股関節再建センターが設立され、センター長である藤田先生は、股関節専門外来で、専門性の
高い治療を担って頂いております。それに伴い、人工関節に特化した手術室を現在準備中であり、
完成後にはバイオクリーン手術室（クラス100）での手術や人工関節治療が提供できるよう、着々
と進めております。

このように当院の整形外科診療は年々パワーアップし、5人体制でそれぞれ専門とする整形外科
診療にあたっております。一般整形外科診療は、金村、石井、小池の外来受診をお願いします。
膝関節でお困りの方は原田外来での受診を、股関節でお困りの方は藤田外来を受診して下さい。
また骨粗鬆症に関しては金村外来受診で対応しております。

先生方の専門分野を強化した整形外科診療体制を整えておりますので、今後さらにこの5人の
チーム力を強化し、よりパワーアップした整形外科診療体制が整えられるように尽力して参りたい
と思います。

現代、人生100年時代と言われています。人生100年時代の皆様の運動器に寄り添える整形外
科診療を目指して、日々取り組んで参ります。

地域の皆様、地域の医療機関の皆様方、どうぞよろしくお願い致します。

講演会開催

千春会では、日本の医療・介護・福祉政策の現状や最新情報を認識し、未来を見据えた地域貢献ができるよう、法人全体で見識を深めるよう努めています。

毎年、講演会をお願いしている埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学大学院名誉教授 田中 滋先生に、今後の将来をいかに予測していくか、様々な角度から今年もご講演いただきました。



講演会に聴き入る法人幹部職員

埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学大学院名誉教授 田中 滋 先生

テーマ：2040年の超高齢者社会を見据えた 医療介護分野の政策と経営

埼玉県立大学理事長 田中 滋先生は、長年、日本の医療・介護政策に関わるご提言を通じて、国の政策実現にご尽力されておられます。

今回は、2040年の日本の未来予測として、社会保険制度、地域包括ケアシステムの進展、医療計画などの最新考察と経営的観点をお聞かせいただきました。

まず、予測不可能だった COVID-19 への対応や今後の感染症について、コロナ禍から学んだこと、対応できること、資源の制約などについて、何が今後の課題かという分析をお聞かせいただきました。ワクチンや医療機器などの「モノ」は遅れてでも充足できるが、医療に関わる「ヒト」については、すぐに確保できないこと。浮き彫りになった IT 化・DX 化などの遅れ、保険所の機能縮小による大きな誤算など、見えた事実と今後の課題について解説されました。

また、マクロ経済として、バブル経済崩壊後の世界と日本の経済状況について、データに基づき、ご説明いただきました。近年、格差拡大や生活困窮、子どもの教育への影響など、様々な社会の分断が生じてきたが、反面、今回のコロナ禍における日本は、経済不振に陥りながらも失業率や犯罪率は低下しており、社会としては安定しているという、日本ならではの状況なども示されました。

加えて「コロナ禍において、今や医療は公共ではなく公益であり、医療は大切であると全国民が

認識している。今後、補助金が有効に使用されたか否かの検証がなされるため、千春会のようにコロナ対応として、しっかり地域に貢献し、医療提供してきた病院は評価されるが、機能しなかった病院は今後選別されることになる。」といった見解を述べられました。

また、超高齢化社会の 2035 年では 85 歳以上が 1000 万人となる予測の中、地域包括ケアシステムは大前提であり、病床数の確保ではなく、外来医療と自宅医療を入れ込んだ医療計画となるため、リハビリテーション、栄養ケア、口腔ケアの 3 つが重要であること。高齢者の日常生活は、家電や通信等の進化により、日常生活機能そのものは向上すること。丸ごと共同体という社会の形は幻想であるとして、共生社会論の問題点なども合わせてご教示いただきました。

最後に標語として「おおむね在宅、必要かつ望むなら施設ないし居住系サービス入所、時々入院、最後は尊厳ある看取り」と示され、若いときは治す医療だが、85 歳 90 歳になれば「家に戻って生活すること」にシフトしていかねばならないため、医療・介護だけではなく、生活を支える在宅医療のニーズが確実に増加していくとして締めくくられ、大変有意義な講演会となりました。



講演中の田中 滋 先生

千春会は、これまでも、医療と介護の連携に加え、それらが融合した在宅サービスの充実を図ってまいりました。今後も社会の現状をしっかりと把握した上で、地域社会に貢献できる医療・看護・介護・福祉サービスの提供に向け、研鑽を積んでまいります。

お知らせ

7月1日より、千春会病院内でお渡ししていたお薬は、院内処方から、外部の調剤薬局で受け取っていただく「院外処方」に切り替わります。

「再生医療外来」について

千春会ハイパーサーミアクリニック
(長岡京駅隣接 バンビオ7階)にて

関節の新しい治療法 (PRP療法) が始まりました



はらだ ひでと
原田 豪人 医師

注射による治療

若年から高齢まで

手術の必要なし

自分の血液の成分を用いる治療で
アレルギー等のリスクが低いといわれています

膝や肩などの関節痛でお困りの皆様
若年の方から高齢の方まで
対応できます！

「PRP療法」とは

自分の血液の中に含まれている自然治癒力を利用した治療法です！

自分の細胞から抽出した「成長因子」を活用する新しい治療法とは

人が生まれながらに持っている、自然治癒力を利用した再生医療で、新しい治療法の選択肢として注目されています。

ご自分の血液を約 50ml 採取して、再生医療センターで検査し、細胞成分から血小板を多く含んだ成分だけを取り出し、PRP (多血小板血漿) を作成します。この中には成長因子が豊富に含まれていますので、傷んだ部分に注射することで、組織の修復を促進し、早期治療や疼痛軽減効果を得るものです。

対象

変形性膝関節症の方、関節炎診断で多数の治療法を試している方、階段の昇降に負担のある方、ひざに違和感、治療効果のない方、関節を痛めた方、手術に抵抗がある方 など

関節以外でも適応となる場合がございますので、お気軽にご相談ください
まずは千春会病院に「PRP 治療について」とお問い合わせ下さい。

千春会病院
075-954-2175 (代表)

※ハイパーサーミアクリニックでの治療前に
必ず、千春会病院 原田医師の膝関節外来を受診してください
第2・第4火曜日 夜診 受付時間 17時～19時45分

ご報告

龍谷大学大学院文学研究科公認心理士 学外実習 実施施設並びに実習指導者 千春会にて承諾

龍谷大学大学院文学研究科より公認心理士の学外実習施設の依頼があり、受諾いたしました。また、実習指導者として法人副理事長・地域連携室長である菊地三弥先生にご担当いただくこととなりました。

龍谷大学大学院文学研究科では、公認心理士受験資格課程が設置されており、この実習は必須となっています。

千春会病院には、すでに公認心理士が勤務しており、様々な業務をこなしています。

今後は、公認心理士を目指す大学院生が、病院での実習を行い、国家資格を受験すべく研鑽していくこととなります。

受験資格を得るためにも大切な実習となりますので、後進の育成として協力してまいります。

みんなで取り組む介護部門

サービス充実のためのスキルアップ

介護上位認定資格 取得者 現在12名



介護老人保健施設 春風 1名、介護老人保健施設 桃山 2名、千春会研修センター 1名、
介護複合施設 東向日 2名、デイケアセンター 岸辺 2名、介護複合施設 今里 2名、
訪問介護センター 1名、サービス付き高齢者向け住宅 一文橋 1名

千春会では、2017年より、介護職員のスキル向上を目指し、介護知識や習熟度を測る法人独自の「介護認定制度」を設けています。介護部職員は、この資格の全員取得を目指し、取り組んでいます。

4つの専門領域「認知症」「看護」「リハビリテーション」「栄養」の筆記試験に加え、看護師、セラピスト、管理栄養士など専門職が講師を務める講座を受講した上で、知識と技術評価がなされる大変厳しい試験です。

この資格に合格した介護職員は、理事長より一人一人、「認定書」が授与され、緑の制服から赤い制服へと変わります。忙しい勤務の中で、努力を惜しまない姿は、他の職員からも尊敬される存在です。

「良質な介護の提供」を目指し、毎年、職員がチャレンジすることで、介護部全体のスキルアップが見られます。

また、介護部の取り組みに触発された医療部門でも、このような認定制度を望む声が自発的に上がるなど、「スキルアップを図ることで、地域の方々により良いサービスを提供したい」そんな職員の熱意が感じられます。

これからも法人理念「良質な医療・看護・介護の提供」に真剣に向き合い、実践してまいります。

こ 報 告

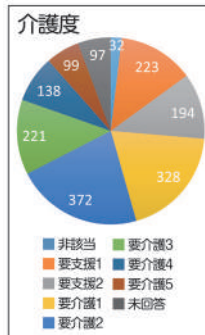
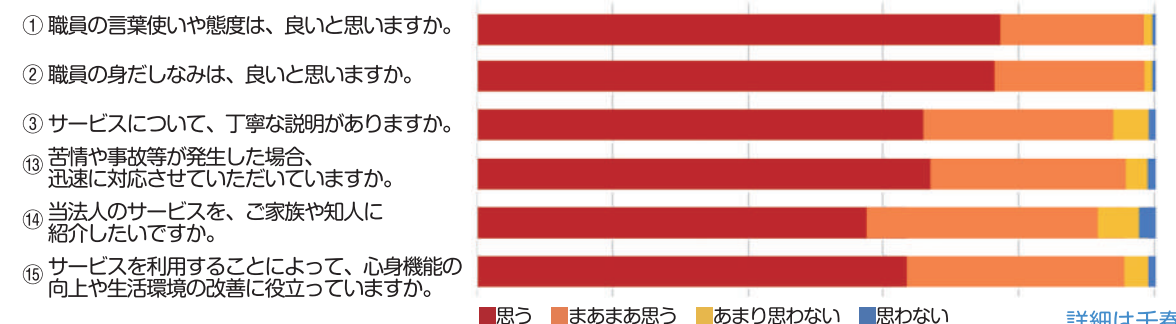
皆さまのご意見を大切に…

より良質な 医療・看護・介護の提供を 目指して

介護部ご利用者様満足度調査を実施いたしました

調査期間 令和3年11月
配布数 2,543件
回答数 1,704件 (回答率 67.0%)

介護部全体 (未回答件数は除く)



詳細は千春会ホームページにて

調査結果を踏まえ、関係部署で検討を重ね、改善を行ってまいります。今後ともご意見・ご要望がございましたら、お申し出ください。満足度調査へのご協力、誠に有難うございました。

歳時記
1

小学生の職業体験に協力
職業体験
「病院のおしごと」を出張レクチャー
公益社団法人乙訓青年会議所主催「次世代育成事業（文化少年団）」

乙訓青年会議所より依頼を受け、小学生の育成の一助になればと協力させていただきました。本来は、病院を見学し、お仕事体験をしますが、現在はコロナ禍にて病院内は立ち入り禁止で見学できません。そこで、子どもたちに病院の仕事を知ってもらえるよう、こちらから出向く「訪問レクチャー」で対応しました。



井上看護副部長から聴診器の使い方を学ぶ子どもたち

藤原院長、菊地副理事長、看護部や放射線科スタッフなどの協力で作成した、イラストや写真が可愛い小学生向けのスライドで「病院のおしごと、一日の流れ」を説明。続いて、井上看護副部長が聴診器や血圧計、パルスオキシメータなどを実際を使用。ドクター用の白衣を着た子どもたちは、血圧測定や聴診器を胸に当て、お互いの鼓動を聴くなど体験しました。薬剤師体験では、堀田薬局長が処方箋をもとに薬を準備する調剤を説明。子ども達は薬局長手作りの薬袋やお薬に見立てたお菓子をを使って、頭痛、発熱、鼻水などの症状に合わせて、初めての調剤にチャレンジ。患者さん役にお薬の飲み方をしっかり説明するなど見事なチビっ子医療者たち。後日、子どもたちから体験の話聞いた保護者さんからは、「病院でしか触れることのできない貴重



な器具を使用させていただいたようで、とても喜んでいました」と感想をいただき、子どもたちも「初めて心臓の音を聴いた」「お薬を袋に入れるのが面白かった」など、楽しんでくれたようです。

コロナ禍ですが、様々な工夫で子どもたちに医療の素晴らしさを伝えることができました。これからも次世代育成の一助として協力させていただきます。



井上看護副部長、堀田薬局長と聴診器を手に白衣もかわいい子どもたち

歳時記
2

長岡京市
「ゴミゼロ運動」に参加

毎年、長岡京市が行う美化活動ですが、コロナ禍で休止中。今年は、開催の運びとなり、千春会も例年通り各部署が参加し、病院近辺、交差点、駅前を清掃しました。最近では、様々な工事も多いのですが、常に近隣の清掃を心がけ、さらに継続した美化に努めてまいります。



リハビリ科、看護部など清掃中のスタッフたち

編集後記

今号表紙は、平家物語で有名な祇王寺の庭園。そこは、夏、緑一色となり、竹林の緑風と相まって実に涼やかな空間となります。今一瞬の清々しさに、平家の悲哀もコロナ禍も、戦禍すら遠くのような平穏な時が流れます。落ち着いた苔の緑、光に輝く葉の緑、明るい若緑、様々な緑に包まれる時、

人はみな、心穏やかになるという。千春会も、職員の懸命な心がある限り、辛さや苦しみを包み込むように皆様の穏やかにしてまいります。寄り添う緑としていつまでも…。(弘)

表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります（インフォームドコンセント）。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります（セカンドオピニオン）。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615